

の一般の母親の風潮であろうか、絵画製作の表現活動より、音楽面のことに家庭でも関心が強いようで、音楽教育を受けさせる傾向が多い。そこで、音楽の面で自己発表という機会を多くもった。うたも、身体の動きも共に、表現を楽しみ吸収が積極的と考えられたからである。例えば「まねっこ」と称して、二人交互に、表現をして、互いに動作をまねる。これは、自分も表現を考え工夫し、友だちの動作も感じとりそれを表現し、これをまた、多ぜいの友だちの前でも発表する。更にこれを一対クラス全員という形でも行なった。この音楽の面から、入って計画したものに電話こっがある。これはうたの歌詞を応用して幼児にその部分を自分自分に表現させたり、音楽から離れて電話あそびという形で、あそびの中で言語的発表とすることを考えて、計画をすすめている。ある幼児は、父親になりきって応待したり、警察の人になりきったりして、現実的であったり想像的なことを言える幼児もいて、幼児たちはよろこんでいるようすが見られる。

これは、経過の記述であるが、私としての「計画」についての考え方をのべたことになってしまった。実際の手段や教材は、幼児からヒントを得たものもあり、教師の工夫による計画のこともあり、計画が不適当で、その副産物的なものから、本筋に入っていくものもある。要は、目標は見失わず、計画としても頭に入れておき、そ

の他具体的なことは、早くから先の見通せるものと、刻々と決まっていったり、動かし得るものであるという考えで行なっている。勿論、最上の状態と方法というわけではない、試行錯誤をくり返している状態といえよう。

抱負」ということについてはいたいたいた題材からすると、私は当を得ていないかと思うが、第二の立場として新学年にあたっては、今までにできなかったこと、できにくかったこと、欠けていた点を、折りこまねはならない。手段としては、絵画製作面での表現活動を盛んにし、理想であるところの、子どもらしいのびのびした中に、安定感と充実感のある幼児の姿、クラスのあり方に近づけたい、これを抱負ということにしたいと思う。

(お茶の水女子大学付属幼稚園)

## 子どもに発展の場を

土橋 克子

年少組としてこの一年を経た子どもたちの名簿を眺めながら新学期への期待は大きい。今ここに語ろうとすることは抱負のみに

## ＜新学年の私の組の計画と抱負＞

終わることかも知れないが、やはり夢は大きくふくらむ。どの子どもたちもどんどん伸びようとする可能性を持っているからだ。

何んの制約もなくすべて自由に任せられたと仮定して、私はどんな計画と抱負をもって新学年にのぞむだろう。今までの反省と共にまとめてみようと思う。

先ず私の組の子どもたちを紹介しよう。四才といっても若い方の四才児である。彼らにとっても、教師である私もこの園は新しい環境である。その上今まで一年保育（五才児）しか持ったことがないので、四才児に接することも初めての経験である。入学前六才児たちから急に四才児への適応が教師自身むつかしく、手さぐりの一年であった。

彼らが一年の間に学んだことの中から主なものを挙げてみる。

- ・自分の身のまわりのことは自分ですること。
- ・園のきまりに従うこと。
- ・目的を持って遊ぶこと。
- ・話し合いの態度を学ぶこと
- ・喜んで責任を持つこと。

毎日の保育に取り上げてきたことだが、一年かかってまだまだ足りない子ども中にはあるが、四才児らしく自分の意見を発表し、また友だちの話も聞く、当番は自分からした、と責任を持つよう指導してきたつもりだ。新しい計画を共にはじめるに当たって大きな意

味を持つことだと信じている。

### ・創造性豊かな遊びを

幼児はままごと遊びを非常に好む。しかし、よく観察すると、人形を寝かせつけ、道具を出し入れすることの繰り返しであることがある。このような時に私は、おとなのスカートや、帽子、バッグなど扮装用に与えてみたい。想像豊かな幼児はそのような物が無くて、その気持になって楽しんでいかぬかも知れない。しかし与えることによって、その中に実際に自分の考えを加え、自分で選んだ物をも身につけてもつと発展してゆけるのである。

扮装したことで彼らはその人物になりきってしまう。スカートの端をつまんで踊りたくなるだろう。その時に踊りの曲を与えると自分たちで踊り出すか、新しい踊りを要求するに違いない。そして子どもたちは、別のグループが造っている積木の車に乗ろうとし、他のグループと自然に結びついてゆくかも知れない。お客様はどこから入ったらよいか——そうした駅を作ろう、切符がある、食堂も、そしてウェイトレスができ、御馳走ができ、お店が加わり多忙な毎日になるだろう。

またオリンピックの年でもある。外国選手が多勢訪日し、新聞にテレビに、家庭でも話題になり子どもたちの関心も高まるに違いない。外国に興味を持たせるには絶好の機会である。扮装することに興味があればさまざまな国の人を真似てみるのもおもしろい。また

自分がなりたいたいのを相談し、例えば宇宙人、ロボット、看護婦さんなど、いろいろな材料を自由に用いて思い思いの仮装もできよう。そして運動会の計画の一部に加えるのも楽しい。遊びの中に、*「絵画製作」*も、*「音楽」*、*「大工仕事」*も必然的に全部含まれてくるような遊びであってほしい。

また子どもたちが楽しく遊びながら、他人を尊重すること、分け合うこと、順番を守ること、協力など社会性の発達に貴重な体験を学ぶ場になりたい。しかしそのためには、さまざまに活用でき自分の創意工夫を入れることができるような環境を用意することだ。特に家庭にあて十分な玩具を与えられている子どもたちには、必要である。例えば大小の木の空箱、不用になったタイヤやハントル、長短の板など、おとなの衣裳、ハッグなど、また余り布、糸巻、空かんなど細々したものなどを子どもたちが必要な時に自由に取り出し使用できるようにする。日頃から心がけ集めておきたいものである。また備えられている遊具も、支障のない限り、自由に使用させ得るものを用意することも以上の空箱や板などと組み合わせで思いがけない飛行機や車が造られることだ。自分たちの考えを加えることにより家庭にある既製の玩具では求められない世界に導いてくれるので子どもたちは飽くことを知らない。このような遊びができるよう願っている。

#### ・絵本に興味を

動的な多忙な中にも誰からも邪魔されずに静かにいこうことのできる場所を作りたい。ここでは子どもたちが自由に本を引き出し絵本と自分だけの世界に入りこめるような所であってほしい。例えば部屋に、隅にちょっとした境をつけて(本棚であつてもよい)或いは物置になつてゐる押入れの戸をはずして教師準備室になつてゐる小さな部屋を利用するなどの工夫をしたい。しかし特に採光には留意したい。壁には本を読んでいる子どもの絵を貼っておこう。机と椅子が数脚いつも置かれてゐるように。棚には童話、科学的なもの、社会的なものなどを用意したい。子どもたちの発達によってその発育を助けることのできるものを考えたい。

したがって季節、興味、発達に応じておけるように。例えば深海に横たわるフランスの潜水艦ハチスカーフの絵を本の中に見つけたとする。強烈な明りをつけ、船底の小さな窓から眺め探検する話は、子どもたちをどんなに刺激することか。早速いま造つてゐる積木の船をハチスカーフにするかも知れない。

また本棚の脇に、指人形の入つた籠を置いておく。絵本から離れた子どもは、指人形と自分で何か語ろうとするかも知れない。

#### ・探求の場を

“どうして” “なぜ” の質問を満足させることのできる場を考えた。ことばだけの理解をしがちな都会の子どもには特に必要であら

＜新学年の私の組の計画と抱負＞

う。或る時は、父兄の協力を求めて兎やにわとりやひよこを数日借りることをしてみたい。

子どもたちも共にその動物たちの食べ物を調べたり、動きを観察したり、撫でたり抱いたりさせる機会を計画したいものである。

また機械いじりの好きな子どものために、不用になった時計、カメラ、ラジオ、蓄音機など自由に操作させてみたい。

また水遊びをしながら量をためしたり、積木遊びの場では、大小の比較をしたり、日向で影を眺めどうなるかみたり、保育のさまじまな時を揃えては子どもたち自身に実験して考えることを指導してゆきたいと思う。しかしここでは、方法まで記す余白がないので全くの抱負だけにとどめておく。

・自由に歌を

四才児の方が五才児より自分の気持を素直に表現しようとする。そこで遊びながら、仕事をしながら、休息の時にも、何か指示する時にも即興の歌にし、ロザさんできた。こうしているうちに、子どもたちの側から話すことが歌となり自分に口ずさみながら生まれて来てほしい。メモ用紙と鉛筆は私から離すことができないほど多忙になることを期待している。

以上のように私自身こうしたいと思うことを漠然と素通りしてきようた。

私と子どもたちの間が常にいい関係にあり、子どももの側に教師が

立って、現在の子どもの求めていることを理解し把握できる教師であったなら、教師の独走でなく計画は共に進められ、子ども自身のものとして発展してゆくものと思う。  
(東洋英和幼稚園)

第十三回 幼稚園教育実際指導研究会

日時 昭和三十九年六月五(金)―七(日) 日

会場 お茶の水女子大学講堂

主催 お茶の水女子大学附属幼稚園内

幼児教育研究会

☆ ☆ ☆

幼児教育講習会

日時 昭和三十九年七月二十二(水)―二十五(土) 日

午前の部 九、〇〇―一二、〇〇

午後の部 一、〇〇―四、〇〇

会場 お茶の水女子大学講堂

主催 お茶の水女子大学附属幼稚園内

日本幼稚園協会